

# 町政の今を 問いたただす!

一般質問



9議員が18項目の質問を行いました。



ページ	質問者	質問事項
6～7	山本 喜平議員	・プレミアム付商品券は公平か
		・風倒木から道路の安全をはかれ
		・猪谷川水辺公園の夏場の管理はどうなっているのか
7	井藤 満人議員	・大規模災害に対する備えができていないか
7～8	入口 誠議員	・森林環境譲与税の活用方策は
		・県道の再整備は
8～9	山本 啓司議員	・和佐集落排水処理施設への食品製造工場接続に関して
		・下水道事業と使用料の収納管理体制の状況
		・JR 和佐駅の設備改善を
10	龍田 安廣議員	・町補助金の代理受領はできないのか
10～11	堀 辰雄議員	・「ごんちゃん漬」の特産化を
		・猿の捕獲報償金を3～5万円にしては
11	吉本 賢次議員	・高齢者が購入するアシスト機能付き自動車に補助金を
11～12	小畑 貞夫議員	・公用車の運行と安全対策の向上を
		・総合防災訓練はいつ実施するのか
12～13	原 孝文議員	・台風10号におけるダム放流の検証と河川状況
		・コミバス、デマンド方式の改善方向は
		・県道御坊中津線南山付近の路面改修を

## 質問の効果

ただ単に執行部の所信をただしたり、事実関係を明らかにするだけでなく、執行部の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にする効果があります。

質問する議員は住民の意見や要望を代弁することが基本であり、執行部の考え方や計画が適切に予算化されているかチェックすることや、執行状況や結果についても質問することができます。住民にとっては、町政の現状が一番分かりやすいのが一般質問と言えます。

# 1 プレミアム付商品券は公平か

商工会に委託しているため、町直営より期間が短い



山本喜平議員

**問** 10月1日からの消費税10%増税による家計に与える影響を緩和するとして、子育て世帯や住民税非課税の方を対象としたプレミアム付商品券を販売する。

取扱店の申し込みを期間中でも受け付け、使用できる店をふやすべきではないか。本町は、対象となる方の申請期間、商品券を購入する期間、商品券を使用する期間が短い。商品券の申請、購入、使用の期間が各市

町村で幅がある。これは不公平ではないか。

**答** 直近の対象者は低所得者が2,572人、子育て世帯が2,89人、合わせて2,801人となっている。

取扱店の募集期間までに80店舗の登録申請があった。新たな店舗から申請があった場合は、柔軟に対応したい。

申請期間、商品券の購入期間及び使用期間の設定は、自治体ごとの裁量認められている。本町では、同時期に子育て支援商品券を発行しており、店舗側の混乱を避けるために同じ使用期間にした。また、商品券の回収及び精算についても、町商工会に委託してお

り、会計処理上、年度内に実績報告書を提出してもらう必要があり、直営の自治体より若干期間が短くなった。

# 2 風倒木から道路の安全をはかれ

危険箇所を早期に発見し、災害の未然防止に努めたい

**問**

昨年9月に徳島県南部に上陸した台風21号は記録的な暴風となり、広大な地域に大きな被害をもたらした。本町でも倒木等で大規模な停電がおき、復旧作業に日数を要した。いまだに林野の倒木が

痛々しい状況だ。

県道、町道、林道など生活道路の山側に残る崩壊箇所は、大雨のたびに土砂崩れや落石倒木を再発させる危険をはらんでいる。道路の山側の崩壊防止対策を講じるべきではないか。

**答** その都度倒木処理、崩土除去等の応急的な対策を行っているが、完全な対策になっていない。

今後は、森林環境譲与税の活用などを視野に入れ、また県や国の補助事業を活用しながら対策を講じたい。

日々の道路管理においても、特に人命にかかわりのある箇所は道路パトロールを強化して、危険箇所を早期に発見し、災害の未然防止に努めたい。

現在、危険箇所は18カ所ある。美山地区で11カ所、中津地区で5

カ所、川辺地区で2カ所だが、そのうち特に

危険と思われるのは7カ所だ。

# 3 猪谷川水辺公園の夏場の管理はどうなっているのか

ゴミ放置への注意喚起表示等で改善してきている



猪谷川水辺公園

**問** 県内でも数少ない無料でキャンプができる猪谷水辺公園は、近年幼い子どもが安心して川遊びができる公園として、夏休み期間中は親子連れの人たちで大変な混雑となっている。

コミバス路線となっている町道沿いに多数の車が駐車しているが、バス運行や通行に支障はないのか。

特に夜間、地元住民の生活環境を乱していないのか。

公園の使用は利用者の良識に任されているが、ゴミの投棄など、無秩序な状態になっていないのか。

**答** コミュニティバスの運転手からは、運行への支障が生じた等の事案の報告はない。路上に駐車しているケースもあるので、今後看板による注意喚起、駐車場の区画線の改善

を検討する。夜間における来園者の喧騒に関連した苦情等の報告もない。一時はキャンプやバーベキューによるごみの放置が多くあった

が、注意喚起の表示を徹底することで随分改善されてきた。地域の方々の協力も得ながら、指定管理者が施設内の美化に努めている。

# 1 大規模災害に対する備えができていますか

ドローンは支所配備を想定して3台を目指す



井藤満人議員

**問** 昨年購入したドローンの試運転を実施しているか。どのような活用ができるのか。中津・美山支所にも配備すべきではないか。

災害が発生し、避難所生活をする住民にアレルギー体質の方がおられる場合の非常食は

確保できているのか。また、人数を把握しているのか。

災害発生時における避難準備情報、避難指示、避難所開設が防災無線で放送されるが、発令のタイミングや自主防災組織との連携は大丈夫か。医療機関との連携はどうか。

**答** ドローンの操作講習を受講させた職員は10人となっている。現状はテスト的に1台購入しているが、近い



購入したドローン

将来支所配備を想定して3台を確保していきたい。

食物アレルギー用の非常食はエッグフリーの缶入りパン720食、アルファ米6750食を備蓄できている。全体の30%となっている。避難情報等の発令は

早め早めの放送を心がけている。今年3月に自主防災組織連絡協議会が発足できているので連携を強化したい。

救急医療体制は御坊保健所を事務局として、関係機関と訓練を実施している。

# 1 森林環境譲与税の活用方策は 林業振興における課題解決に活用する



入口 誠議員

**問** 今年度から始

まった森林環境譲与税は、具体的にどのようなことに活用していくのか。

今年度は国の予算が約

200億円で、町には約2500万円が入った。森林環境税の納税が開始される2024年には国の予算は400億円、その9年後からは600億円と設定されている。町も、今の3倍になる可能性が高く、長期的な見通しもある。見解を伺う。

税の用途について、道路脇に茂る木の伐採や里山保全、風雨等での倒木除去等には活用できないと聞く。現状に合った活用方法を、県や国に提示してはどうか。

**答** この譲与税は間伐や路網整備といった森林整備に加え、人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発に充てなければならぬとされている。当面は林業振興の課題解決に向けた取り組みを行うために活用

したい。

長期的には、制度設計を事前に立てておく必要がある。今後、切り捨て間伐以外の森林整備計画も実施してい

きたい。

全国の市町村の活用方法等も鑑みながら、国や県への働きかけも考えている。

## 2 県道の再整備は

今後必要な道路整備は要望していく



御坊美山線株井トンネル

**問** 町内の主要な県道は、ほぼ整備されている状況であるが、町

発展のためにさらなる整備を進めるべきと考える。

去年の6月議会で質問をした、株井トンネルを含む前後区間の改修について、進捗があったのか聞く。

県道船津和佐線の松瀬から伊藤川口にかけての道路拡幅を進めてはどうか。

**答** 主要な県道はほぼ2車線に整備されており、今後も真に必要な道路整備については県及び関係機関に強く要望していく。

県は現時点で、株井トンネル改修を行う予定はないとの回答である。町としては、大動脈であり、緊急輸送路であることから、早急な整備計画を立て、事業化が図られるよう粘り強く要望していく。

県道船津和佐線は主要県道御坊美山線の災害時迂回路としての役割を担うことから、県

に対して要望をしている。事業化に至っていないが、沿線の地籍調査も完了したことから、より強く要望していく。

## 1 和佐集落排水処理施設への食品製造工場接続に関して

覚書を締結した上で接続を許可した



山本啓司議員

について、法令等への適合状況はどうか。今般、接続が許可されたが、条例に定める排水基準への適合評価はどうか。

**問** 法改定に基づき6月議会において条例改定がなされ、BOD、窒素、りん酸他条例に定める排水基準を満たした場合、一部製造業について集落排水処理施設への接続が可能となった。

今後工場側の雑排水に対する検証や終末処理後の各数値の測定について、どの部署が、どのように対応しているのか。公表の方法はどうか。

従前の当該工場排水

**答** 町、会社、地元間で公害防止協定を締結し、年2回町が立会

いのもと採取した排水を検査機関で検査するほか、毎月の会社独自の検査を実施した。何れも水質汚濁防止法に規定される排水基準に適合していた。

受け入れに関する覚書を締結した上で接続を許可した。  
覚書では従来通りの水質基準を満たすようたわれており、上下水道課が水質検査を行っていく。検査結果の公表方法については、いつでも閲覧できる。

## 2 下水道事業と使用料の 収納管理体制の状況

協力できるところがあれば取り組みたい

**問** 宅内未接続者に対しては現在基本料金が賦課されているが、近隣市町の状況と、その法的根拠はどう考えるか。

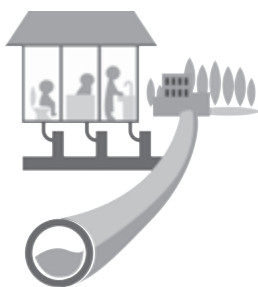
下水道使用料の収納管理に携わる「主体」について、近隣市町の状態はどうか。  
使用料の収納管理に

関する個人情報については、現在各集落排水管理組合が取り扱っているが、この件に関して可否や方向性を伺う。

**答** 町が加入申し込みを承諾した時点で宅内工事の確約等の内容は効力を有し、施設利用者が承継して行くものである。美浜町や印

南町でも徴収している。宅内未接続は個人の諸事情であり、基本料金の賦課は条例施工規則に基づき徴収される。町との間で覚書が交わされ、各処理区の施設維持管理組合に使用料の徴収にあたって頂いている。近隣では、役場担当課が使用料の徴収・管理を行っているのが現状だ。

知り得た情報は他に漏らせないものの、これまで同様各維持管理組合の協力を得たい。対応方法等、協力できるところがあれば取り組みたい。



## 3 JR和佐駅の 設備改善を

町による整備も視野に検討

**問** JR和佐駅の駅舎が現在の斬新なオブリジェのようなものに置き換わってから3年が経過するが、利用者の方からは、色々な意見を耳にするが肯定的なものはない。

町の玄関口として和佐駅の周囲には立派な観光看板、公衆トイレが整備されている。  
テニスコートの屋根掛けが事業化を迎え、周辺では若者の定住促進に向けた町有地の活用計画もスタートしようとしているなかで、



JR和佐駅

地域の活性化に期待し、駅としての設備改善を要望したい。町長の考えは。

**答** 町唯一の駅で、南山スポーツ公園、テニス公園、天文公園など主要施設の最寄り駅で、まさに玄関口と位置付けている。  
直接或いは紀勢本線活性化促進協議会を通じて毎年設備改善を要望している。  
望しているが、前向きな回答を得ていないのが現状だ。粘り強く要望活動を行って行きたい。

待合室の設置や駐輪場の整備など、周辺整備が整ったタイミングでJR所有の土地を借り受け、補助制度を活用し、町による整備も視野に検討できればと考えている。



# 1 町補助金の代理受領は できないのか

導入効果が見込める補助事業  
については今後検討する



龍田安廣議員

**問** 若者定住のための施策に係る130万円の補助、空き家対策への80万円の補助の他にも色々な状況においての補助金制度があるが、施工業者と発注者との金銭トラブル

ルを聞くことがある。現在は発注者への直接払いであるが、トラブル解消と負担軽減につながるよう代理受領はできないか。

**答** 全ての補助事業に代理受領制度を導入するには問題が生じる。県外からの移住者には県の補助、県内の方には町の補助で対応している。通常の補助事業では、支払いが完了した後に交付が原則なので、発注者と受注業者との金銭トラブルは生じにくいと考える。しかし、住民の負担軽減につながるメリッ

トもあり、導入効果が見込める補助事業については今後検討する。家賃滞納を未然に防ぐ対応方法については、他の自治体の取り組みや事例を参考に方法を検討したい。



堀 辰雄議員

# 1 「ごんちゃん漬」の特産化を

より特産化をすすめたい



自生するイタドリ

**問** 「ごんちゃん漬」を町の特産品にした経緯を聞くとともに、今後の特産化の方針はどうか。

**答** 町の特産品には町有地に自生しているイタドリを管理させてほしいと加工者等から要望されたらどう対応するのか。

指定していないが、日高広域観光振興協議会が推奨を決定している。今後も特産化をすすめたいと考えている。

町有地の法面等に自生しているイタドリの管理は、町有地の貸し出しや許可の必要や他の町民との公平性の問題もあり、考えていない。

# 2 猿の捕獲報償金を3～5万円にしては

日高地域鳥獣対策本部に提言していく

**問** 猿による被害が土生や小熊の方まで広がっている。猪や鹿は電柵や網でかなり抑えられるが、猿には効果が薄いようだ。他町では、猿一頭に対し、3～5万円の報償金を出して効果を上げているそうだが、当町も猟友会とも相談し、捕獲報償金の値上げを検討してはどうか。

**答** 町としても侵入防止柵の設置支援、追い払い用煙火の購入支援、狩猟免許取得に対する助成など行っている。有害鳥獣捕獲報償金とあわせて、効果的な

捕獲方法について猟友会と相談しながら、また、御坊市長ほか管内6町長と担当者で組織する日高地域鳥獣対策本部に提言していきたい。

# 1 高齢者が購入するアシスト機能付き自動車に補助金を

前向きに検討したい

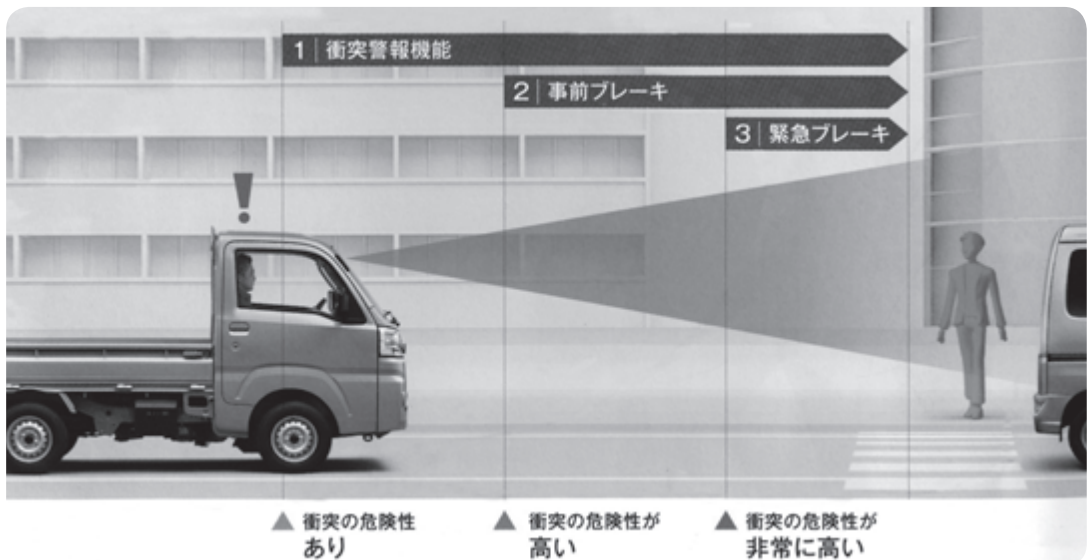


吉本賢次議員

**問** 近年、高齢者による交通事故が大きくマスメディアに取り上げられ、大きな社会問題となっている。一般論として、免許証を返納するのが一番の解決策である

**答** 本町のように高齢化が進み、広域な面積を有している自治体においては、公共交通だけでの移動

が、本町の交通事情を考えると、どうしても自分の車で移動しなければならなくなる。高齢者の方々がアシスト機能付き自動車を購入される時に、町として補助金を出してはどうか。



アシスト機能の一例

は困難であり、自家用車に頼らざるを得ないのが現状である。高齢を理由に免許証

の返納を勧めるだけではなく、高齢者の行動範囲を安易に狭めることのない環境づくりが

できればと考えている。補助制度については、既に取り組まれている

全国の先進地事例なども参考に、前向きに検討したい。

# 1 公用車の運行と安全対策の向上を

全性を高めたい



小畑貞夫議員

**問** 職員が町民を同乗させ公用車を運転しているが、運転範囲等を運行規則等で取り決めていいのか。

最近の煽り運転などもある交通環境を考えると、公用車へのドライブレコーダー設置は必須ではないのか。

**答** 職員の公用車運転規則等はないが、出張命令簿などで

出張内容を把握して運行している。実情としては、同乗する方々が少人数の場合は、職員が運転している。近隣市町でも同様に運行規則等の取り決めは行っていない。

ドライブレコーダー設置は、平成30年度から行っている。現在、公用車27台に設置しているが、未設置車両への設置を速める検討を行う。



本庁の公用車車庫

## 2 総合防災訓練はいつ実施するのか

来年度に実施したい

**問** 地域防災計画には、町が行うべき行動計画が記載されているが、それぞれの計画が実施にされているのか。以前より再三にわたり総合防災訓練の実施を提言しているが、

一向に前に進まない。先日の台風10号において、ライブカメラも夜間には機能していなかったが、今後はどうするつもりか。自分の命は自分で守ると言いながら、町

民にその知識や体制が整っていないければ守れない。町は、今後町民にどのような働きかけるのか。

**答** 地域防災計画は、現状と課題が記載されているので、その方針で防災体制の構築に努める。防災訓練については、地域間に防災意識の温度差がある。また、災害特性が地域により異なる事などを検討して、来年度には実施したい。河川監視カメラは、

県管理が6カ所、町管理が2カ所あるが、夜間に見づらい。町管理のカメラは早急に対応する。県管理のカメラは既に改善要望している。今後も防災対策として、町民が自分の命は自分で守る行動ができる様にサポートをしていく。

## 1 台風10号におけるダム放流の検証と河川状況

不安が頭をよぎり、有事に備えた



原 孝文議員

**問** 今回事前放流を実施したが、時間や総量、ダム水位等への効果について聞く。総雨量が予想より少なく、雨のピークも一度だけの台風であったが、それでも1700tを越える放流となった。ダム水位から見ると、あと数時間振り

続けたなら、またピークがもう一度あったなら、またもや「ただし書き操作」を余儀なくされたのではないかと。今回は、下流域での雨量が多く、水位が上がった。下流域の雨量がダム操作に反映されない問題が露呈したのではないかと。

**答** 改修した江川川の状態はどうであったのか。また、早蘇地内で改修したばかりの堤防が破損した。あの地点は流水の「あて」であり、ブロック構造では問題があったのではないかと。

万7千tを事前放流して、水位を1m近く下げた。多少の効果はあったと思う。雨の降り方から、「場合によっては」と町としても身構え、有事に備えていた。下流域の雨量と水量については、最大1500tを流れな

いだろうとの計算もとの操作となっており、実態に合っていない。江川川については、改修部上流で一部農地が浸った。早藤の件は調査中ということだ。

## 2 コミバス、デマンド方式の改善方向は

もう少し様子を見て良い方向を見い出したい

**問** 去年12月議会で運行実態や住民の意識や要望から見た

くつかの問題点を指摘し、改善を求めたが、その後どういっ



た対応をしたのか。管内の自治体でも乗合いタクシーの運行をはじめようとしているが、その特徴をどう見るか。また、全国に学ぶことが大事とも指摘したがどうか。本年10月からの運行はどうするのか。

**答** この問題は住民の皆さんと町の思いとが一致するというのが難しい。

どの自治体でも同様の問題を抱えており、研修会に参加して全国の先進事例を学んでも本町にマッチするようなものが見つからない。

乗合いタクシーもまだ未知数だ。御坊市への乗り入れや民間事業者の経営への配慮等もあり、深い検討と協議が必要だ。

ただ、全国的には行政でなく地域が公共交通を運営したり、行政と事業者が一体

となつてやっている所もあると聞いており、調査を進めたい。現時点では、今年は運行変更をする予定はなく、できるだけ早く目に見える改善をしたと考えている。

### 3 県道御坊中津線南山付近の路面改修を 損傷部の補修を発注しており、後のことは協議していく

**問** 当路線は現在、

山野、三津ノ川、大又、三十木で改良が進められ、地域住民として喜ばしいことであり、評価をする。



南山入口付近の県道

ただ、他の工事によるダンプカーの通行が激しいこともあり、路面改修を必要とする箇所が多く見受けられる。対応してほしい。

その中でも南山スポーツ公園入口から和佐千曳橋間の路面は荒れがかなりひどい。11月にねりんピックが開催されることでもあり、早急な改修を県に要望してほしい。

**答** 当箇所については、損傷部分だけでなく、抜本的な改修が必要と思うがどうか。町内の県道の路

面損傷部分については住民に迷惑をかけており、その都度県に補修を依頼しているが、行き届かない部分もある。南山付近については、路盤にクエン酸が混じっている箇所が一部あり、常に路面が下がり、損傷しており、補修してもらっている。

今回も、損傷が激しい箇所の補修工事をすでに発注しているが、再度確認して要望していききたい。抜本改修についても、県と今後協議していききたい。

### 全議員研修会に参加

8月2日にきびドームで和歌山県町村議会全議員研修会が開催されました。講師は、東京大学史

料編纂所教授の本郷和人氏で、「関ヶ原の戦い、武将たちの決断」をテーマに有意義な研修となりました。

